

夕子モ

Myriophyllum ussuriense (Regel) Maxim.

アリトウグサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

県内における生育地が限られ、環境が人為による影響を受けやすい。(現況:R-)

形態

沈水～抽水～湿生植物。フサモ属ではもっとも小型。茎は直立して、枝はなく、水中にあるものは長さ50cm内外に伸びるが、地上に出て湿地に生えるものは、高さ5～20cmとなる。葉の下部は対生だが上部は3～4輪生。水中葉は羽状に深裂し、裂片は糸状線形で短い。茎の上部の葉は針形で、普通羽裂しない。雌雄異株で、花は気中葉の葉腋につき、雄花の花弁は4個で淡紅色。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

外浦区、内浦区、中能登区、南加賀区。

生態など

多年生。花期は6～8月。水中と陸上では顕著な異形葉を示し、水位が下がる時期には葉を厚くして陸生形をつくり、湿地に広がる。陸生形は冬に細長い殖芽を形成して植物体は枯死するが、水中では冬も枯れずに一部の植物体が残る。ほとんどの産地では雄株か雌株のどちらかしかなく、結実はあまり見られない。

生育環境

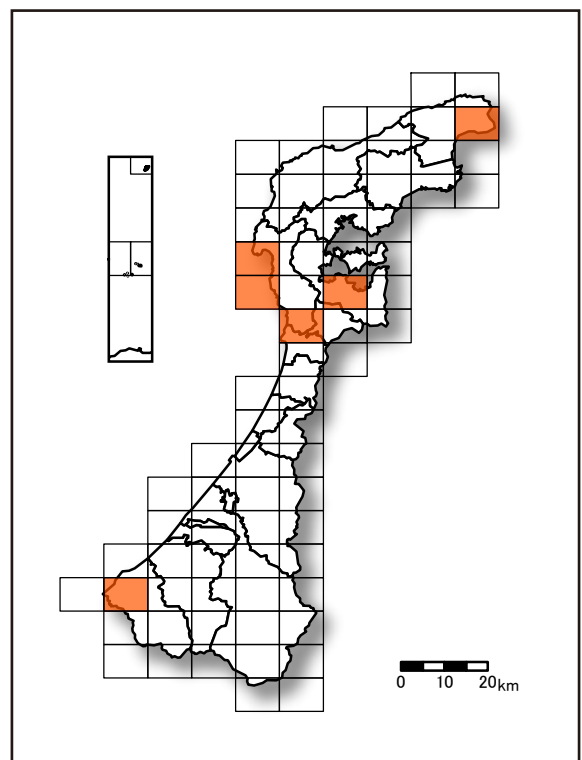
山間や丘陵地の栄養が乏しい池沼。

危険要因

池沼開発、水質汚濁、管理放棄、自然遷移。



小野ふみゑ・2008年10月20日・能登・(花)林 二良



県内の分布